

2022.7

vol.6



# Diversity & Inclusion

～ “いのちのつながり”に貢献する医療、研究のために～

## 豊かな多様性を高い組織力につなげるために

日本医科大学と日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社が協働してダイバーシティを実現する研究環境の構築に取り組む本事業は、中間年となる3年目を迎えました。ここまでの事業の成果、および残り期間に重点的に取り組むべき課題について、One Health実行委員長の日本医科大学・弦間昭彦学長に聞きました。

## Interview

私たちは「女性研究者の研究力の向上・産学連携の促進」「女性研究者の上位職への登用促進」「社会全体としてのダイバーシティ環境の実現」という3つの目標達成に向けて、4つの行動計画に沿って取り組みを進めています。このうち、「地域との連携によるダイバーシティ研究環境の実現」と「グローバル人材の育成」は、新型コロナウイルス流行の影響でかなり制限されましたが、「共同研究の推進と女性・若手研究者キャリア支援」と「上位職への登用促進に向けたキャリアアップ」については順調に進んでいます。

「共同研究の推進と女性・若手研究者キャリア支援」は、3つの組織の背景を踏まえて本事業の柱として位置づけられています。ライフイベントに直面する研究者をサポートする研究支援員を配置しながら研究費を活用してもらう仕組みで、本事業での研究費のほか日本医大と日獣大との共同研究費も配分しています。公的な研究費を得るための講座の実施や研究計画書の添削支援の制度も設けており、多くの女性・若手が活用しています。この制度を利用した人で翌年公的な研究費を獲得できている割合が高く、かなり有効に機能しています。

「上位職への登用促進に向けたキャリアアップ」については、組織的な対応とともにトップからの働きかけも行ってきました。具体的には、これまで研究も診療も教育もすべて行えなければならないとしていた教授職の選考方法を見直し、秀でた部分を評価して登用する形に改めました。

准教授、講師については研究を重視するとともに、ある一定期間は教育に従事する教育担当のポストを設けて女性を登用したところ、21名(教授3名、准教授4名、講師14名)が昇任して数値

目標を達成しました。ポジティブアクションの側面も持つ措置には一定の効果があったと言えるでしょう。さらに、女性教員のリストに基づきトップである私が直接面談して、昇進可能性のある人材の掘り起こしにも努めています。職位を得られそうな人材が志をしっかりと維持できるよう声掛けをして、動機づけになればと考えています。

本事業は3つの別組織がダイバーシティという共通のテーマで推進している点も大きな特徴です。特に、日本医大と日獣大とは同一法人であってもなかなか接点を持ってませんでした。しかし、本事業を通じ教員同士が諸課題に対して話し合えるようになったと思います。日獣大が持つ食品領域は医療と直結していますので、これからもさらに連携を強化していきます。また、アンファーという比較的新しい企業からも色々なアイデアや施策を学んでいきたいと思っています。



日本医科大学 学長 弦間 昭彦

ここまで本事業を実施してきて、助教になるハードルが一番高いと感じています。この時期にライフイベントが重なりがちですので、続けたいけれども困難を感じているのであれば、ご本人への支援やロールモデルの提示など、しあわせキャリア支援センターで行ってきていることをさらに周知していくことが大切です。幸いオンラインでの講座をはじめ各企画への参加者も増加しています。

育児休業等の取得で確かに周囲の負担は増えますが、社会全体として多様性への理解が進んできています。この時期のハードルを超えれば、職務的にも優遇されて講師、准教授への道も開けていくので、結果として女性管理職の増加が進んでいくと考えています。

本事業は、多様性を認め合い組織力を高めていくことを

目指しています。しかし、多様性があれば組織力が自然に高まるほど簡単なことではありません。個人の多様な人生のありようを前提に、個人として高いモチベーションを持っていかに組織で活躍するか、組織から見ればそうした個人をどうポジショニングし、活かしていくかを常に考えていかなければ、組織力を高めることにはならないと思います。活躍できるポジションは人それぞれで、時期によっても活躍できる領域が変わります。こうした部分に柔軟に対応し、組織を良くしようと考えていただける人を増やしていきたいと思っています。ここまで総じてうまくいっていますが、特に若手の層を厚くするにはどうすればいいのか、引き続き細かい工夫が必要です。最終的な目標達成に向けた戦略と戦術を、皆さんとご一緒に工夫しながら実行して参ります。

## 支援制度のご紹介

2023年度の募集は2022年の秋ごろを予定しています。

### 共同研究の補助

連携機関における共同研究を推進しています。女性研究者の視点で、人や動物と医療、社会と環境をつなぐ共同研究のうち、特に有用と認めた、女性が研究代表者となるプロジェクトに対し、年間100万円を補助します。

### 担当委員からのメッセージ



これから昇進したい、研究成果も上げていきたいけれども、子どもの世話や介護などがあり時間的に困難を感じているという方を支援していきます。審査にあたり家庭の事情や研究内容を検討しますが、日本語の論文でも良いので論文執筆をまた、科研費に応募したことがあるのかなども審査の基準となります。若手の先生からの応募は大歓迎ですので、どんどん応募していただき、これをきっかけに、補助があれば困難な環境でも研究ができるのだという希望を持っていただきたいです。

日本医科大学皮膚科学 教授 しあわせキャリア支援センター 委員 船坂 陽子

### 研究支援員配置制度

育児や介護などのライフイベントにある研究者に週20時間までの研究支援員を配置する制度です。実験やデータ解析等を補助する「研究支援員」を研究者ごとに雇用し、研究活動を維持・促進し、キャリアを継続できるようサポートしています。

## クラウドファンディングのご報告

しあわせキャリア支援センターでは、2021年10月にクラウドファンディング『出産や子育てでキャリアを諦めない。女性研究者へ、研究継続の支援を!』に挑戦しました。これは本事業の取り組みや意義を内外に広く発信し、研究支援員配置制度\*の雇用費用を広く募るものです。共感する173名もの方々からご支援をいただき、当初の目標300万円を大きく上回る648万4,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。皆様からいただいたご寄付は、2022年度の研究支援員配置制度を利用する女性研究者が今後もキャリアを継続するために使わせていただきます。

\*出産や育児、介護などのライフイベントのある研究者の研究活動を維持・促進するため、実験やデータ解析などの補助をする「研究支援員」を研究者ごとに雇用する制度



クラウドファンディング『出産や子育てでキャリアを諦めない。女性研究者へ、研究継続の支援を!』

日本医科大学 しあわせキャリア支援センター

## 2022年度 研究支援員配置制度利用者

### 日本医科大学

市川 智子(附属病院 女性診療科・産科) 遠田 悦子(解析人体病理学)  
 岩崎 雅江(附属病院 麻酔科・ペインクリニック) 仁藤 智香子(共同研究施設)  
 稲垣 恭子(附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科) 福泉 彩(呼吸ケアクリニック)  
 吉田 舞(附属病院 皮膚科) 西本 あか奈(武蔵小杉病院 形成外科)

### 日本獣医生命科学大学

藤原 亜紀(獣医学部 獣医学科 獣医放射線学)  
 渡辺 雄貴(応用生命科学部 動物科学科 動物生理制御学)  
 松田 寛子(応用生命科学部 食品科学科 農産食品学)



クラウドファンディングの詳細はこちらから。制度利用者の声も掲載しています。

## 活動報告

### イクボスセミナー開催、イクボス宣言しました

2021年12月14日(火)、武蔵小杉病院講堂においてイクボスセミナーを開催し、会場とオンライン合わせて約190名の教職員、学生の方々にご参加いただきました。

講師には、NHK「クローズアップ現代」で「元祖イクボス」として特集され、AERA「日本を突破する100人」に選出されたNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏をお招きし、「誰もが活躍できる職場 活躍させる上司 ～仕事と私生活の両立環境は、経営戦略～ 部下も仕事も自分も大事にする働き方」と題して、「イクボスの心掛け」についてご自身が経営者や上司として実践してきたことを具体的事例を挙げながらご講演いただきました。セミナーに続き、日本医科大学の弦間昭彦学長、日本獣医生命科学大学の清水一政学長、アンファー株式会社の波間隆則主任研究員がそれぞれイクボス宣言を行い、両大学の宣言書には坂本篤裕理事長の署名が添えられました。宣言には、教職員それぞれが求めるキャリア形成と人生を応援すべく、働き方改革の推進やワークライフバランスの実践に努めることなどが盛り込まれています。



セミナーはこちらから  
ご覧いただけます



### リーダーシップ&マネジメント力養成セミナー「ダイバーシティのさらなる推進と目標達成のために」

2021年12月17日(金)、東京農工大学(以下、農工大)より天竺桂弘子(たぶのきひろこ)女性未来育成機構長をお迎えして、二部構成でのセミナーを実施しました。第一部では、天竺桂先生より「女性研究者の採用再加速とライフイベント支援について」のご講演をいただきました。農工大における女性研究者のためのライフイベント支援制度や、女性研究者の増員を目指した独自の採用制度が紹介されました。ポジティブアクション「1プラス1」は、常勤の女性教員を採用した際に、プラス1名分の特任助教の人員費が支給される非常に画期的な採用制度です。女性教員比率は約10年前より劇的に上昇し、2021年度では農学系15.0%、工学系11.0%と全国でもトップレベルの状態となっています。第二部では、天竺桂先生、植木ダイバーシティ推進委員会委員長、日獣大教員4名で座談会「ダイバーシティ研究環境実現のために」を実施しました。日獣大の支援制度や育児休暇の利用経験がある男女教員から利用状況が報告され、今後のビジョンが話し合われました。また、農工大で取り組む女子学生の育成とメンター制度について、本学での実現の可能性が検討されました。本セミナーの内容は、冊子にまとめられて関係機関に配布されています。



### 介護と仕事の両立支援セミナー開催

2021年秋、介護と仕事の両立支援セミナー(全3回)をオンラインで開催しました。連携機関、全国ダイバーシティネットワーク東京ブロックから188名のご参加をいただき、関心の高さがうかがえました。

多くの人が介護に直面する可能性がある状況下で、①介護に携わる可能性があること②今できる準備とその時が来たらすること③仕事と介護を両立することの心の準備—をイメージできるようになっていたくことを目的として、以下の3部構成で行いました。第1回「介護と仕事の両立って? (講師:石渡明子 日本医大 脳神経内科)」、第2回「知っておきたい社会資源(講師:柴田将宏 日本医大付属病院 患者支援部門)」、第3回「今からできること(講師:根本留美 日本医大武蔵小杉病院 街ぐるみ認知症相談センター)」。参加者のアンケートからも、セミナーの主旨が伝わったことが分かりました。本事業では今後も、仕事と介護を両立し安心して仕事を続けられる環境整備と情報発信を進めて参ります。

なお、これまでセミナーの開催時間には様々なご意見をいただいておりますが、コロナ禍での黙食推奨もあってランチタイムのコンパクトな開催は参加しやすいと好評をいただきました。



セミナーはこちらから  
ご覧いただけます



## 研究助成

### 2022年度 共同研究

本事業では、連携機関(日本医科大学・日本獣医生命科学大学・アンファー株式会社)における共同研究を推進しています。日本医科大学、日本獣医生命科学大学に所属する女性研究者が代表となる医学・生命科学領域の共同研究を公募し、研究費として1件につき100万円を補助しています。2022年度は次の研究者が採択されました。

#### 日本医科大学

**稲垣 恭子**(付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 講師[教育担当])  
「原発性脂質異常症が及ぼす心理的ストレス及び発達への影響の検討」  
日本医科大学1名 日本獣医生命科学大学1名

**堂本 裕加子**(付属病院 病理診断科 講師)  
「アミロイドーシスの背景心筋組織の検討 ～心筋のプロテオーム解析～」  
日本医科大学3名 アンファー株式会社1名

**若林 あや子**(微生物学・免疫学 講師)  
「抗生剤が促進する食品添加物ミョウバンによる腸上皮細胞の炎症性細胞死の解析」  
日本医科大学3名 アンファー株式会社1名

#### 日本獣医生命科学大学

**小竹 佐知子**(応用生命科学部 食品科学科 食品工学 教授)  
「高齢者喫食行動の特徴と食品フレーバーリリースへの影響」  
日本獣医生命科学大学4名 日本医科大学2名

**小野沢 栄里**(獣医学部 獣医保健看護学科 獣医保健看護学臨床部門 助教)  
「ネコ難治性膵外分泌腺がん細胞株を用いた薬剤耐性機構の調査と新規治療戦略の探索」  
日本獣医生命科学大学3名 日本医科大学1名

**藤原 亜紀**(獣医学部 獣医学科 獣医放射線学 准教授)  
「犬のリンパ球形質細胞性鼻炎症例における鼻腔細菌叢の評価に基づいた特定細菌に対するリンパ球反応性の検討」  
日本獣医生命科学大学4名 日本医科大学1名

**町田 雪乃**(獣医学部 獣医学科 獣医病理学 講師)  
「イヌの肝細胞癌のオルガノイドバンクの構築および新規治療法の開発」  
日本獣医生命科学大学2名 日本医科大学1名



### 2022年の活動報告

- M** 1月24日 留学イベント「留学のこと聞いてみよう!」
- V** 4月25日 国際交流講演会「米国臨床留学のすべて」開催
- A** 5月19日 リーダーシップ&マネジメント力養成セミナー開催
- 6月29日 2021年度の共同研究および研究支援員配置制度利用者の研究成果発表会開催

報

報

知

知

- M** 1月21日 令和3年度東京都女性活躍推進大賞(教育分野) 優秀賞受賞



### 支援制度のご案内

本事業では皆様の研究活動を支える様々な制度をご用意しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。ご利用をお待ちしています。

- 2022年度 病児病後児等保育支援
- 2022年度 英文校閲費用助成
- メンター制度、相談窓口
- 留学アドバイザー制度
- アーカイブ配信



### 今後の活動予定

- 7月12日 研究人材育成セミナー  
「研究費獲得セミナー 科研費編」開催
- 7月28日 第3回女性・若手研究者  
キャリアデザインプロジェクト研究発表会開催
- 8月4日 イクボスワークショップin千駄木開催

【実施機関】 **M** …日本医科大学 **V** …日本獣医生命科学大学 **A** …アンファー株式会社

【ホームページに記載がある情報】 **支** …支援制度 **報** …活動報告 **知** …お知らせ

詳細、お申し込みなどは  
One Healthのウェブサイトをご  
覧ください



文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

【代表機関】日本医科大学 【共同実施機関】日本獣医生命科学大学 アンファー株式会社

【編集・発行】学校法人日本医科大学 しあわせキャリア支援センター 〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 TEL 03-3822-2131

one-health.jp